戦時非常整備につき夫々形人居住地域に厳戚を布き虹ロー帯は戦時成像下に入った

(東京電話) 海軍衛では二十三日午後十一時二十五分割言語の形式で左の如く遊表した

會議

開

**b**3

施政の目標は

ールを本部とし、また竹下少佐指揮の第四大隊は施高塔路の日本人小學校を本部として

に急派し更に午後九時三十分(廿三日)小田原少佐指揮の第二大隊は北四第二十二月間21 東假郷生と戦に羅護隊本部は直に〇〇隊を報幕に献置すると戦に第三隊として,一ケモ

態事力

上海二十三日同盟会報に接した我が陸戦隊では乍浦路派出所及び本部より隊員を会派し

上海二十二月同盟一二十三日午後八時四十五分峰艦出来より陸脈隊〇〇着上陸、我が大使縮總領東緯及び、

ると共に犯人を陸戦隊に引渡したの音がして日本の水兵が倒れたの

# 名即死

# 海共同租界で

名は支那人に狙撃され中一名は胸部を撃たれ即死、他の二名は兩腕に負傷した上海二十三日同盟二十三日午後八時五分吳淞路至誠堂霊居前を歩行中の我が陸

# 言備力を增强 を即刻機動

けさ上奏御裁可を仰ぐ

海相扈從取や

品管理 王管

最後に日満開

殖產局主管

治の虚調をなす重大スローガン 治の虚調をなす重大スローガン

は、今さら内鮮勝利を口にする

六、漁船遭難防止 の爲漁港の管理、 船具の改善等に

英勵に開

も統領の大道は磐らず 既に供に一座の精遊、繪書鑑る 既に供に一座の精遊、繪書鑑る

武日毎日行動満婦の時期々に

帰となるのかも知れれ、確算し那は今の場合更生の道を歩む意 急さつしある ストルの音、支那は自ら確算を 担る、その合闘が魔々に握ると 自己な穴を掘るといふか、支

本社辭令

てやるのが親切といふもの

號外發行

小説は二面にあり

の災害對

ラる件

害に到する数

十一時號外を疲行しました(本紙)上海の重大事態に關し廿四日午前

削總督の唱

◆二十四日 離會顯示、綿藍朋 管內狀況報告

今次着任の直

智識成績は存位 智識成績は存位 を 発に 七月以降 に 1月下旬 に 200 に八月下旬 に 200 に八月下旬 で 200 に八月下旬 の 200 に八月下旬 の 200 に入り下旬 の 200

**時満依存深化**はわ

るべき特殊事情に對して、今役の情勢に放つて、特に鮮繭相依に當り大所島所上り活眼を內外

に依 る五族協和 が関に働きなける ・ 大きいの ・ 大きい ・ 大きい ・ 大きい ・ 大きい ・ 大きい ・ できる 

しゐる

十字の水岩線及は政治事業として予証に放て施行といるできる。 ・ で予証に放て施行といるできる。 ・ で表面に放て施行に表面がたことを動態 ・ で表面に会るの影響になったし、 ・ 「開花的音の精

**坚戦隊上陸** 

耐涵髭に聞する

七、惟災民救濟事 學**務局王管** 業に闘する件

の単に次ては共の地理的及気象 の順端上別半早半、水等、冷密 等の炭機を返出し一ち送兵の象 る被害甚大なるものあるに鑑み 有後一層頭尾原窓の標準を崩壊 である性に成ってく都落自由に はる無電視施設の製御に多め常に 値があく住宅のを定を綴らしし むっさと共に成って、都落自由に はる無電視施設の製御に多め常に 直り非るの場合に個へ降階相扶 けて水く色塔白の大定を綴らし してきっき接収の配意ありたし 各道知事宿舍 知事館職

## 旧和十一年九月二十四日 朝鮮總督 南 次邱

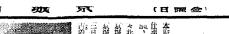
王管 度に關 選に付ては天天剛急の措置を講 でもる所あるべしと難も就来 に続ける解地表等の質量に強す っに実紀を完智的に織髪子向野 からず病くては従来本層が多額 助役を助成し来りたる所と動場 できるの語果となり而も之が教済

からからからない。 からが変なが、 からができなが、 を定数が、 を定数が、 を定数が、 を定数が、 をできなが、 を定数が、 を定数が、 をできなが、 をできな

能培養に闘する五、森林の治水機

題で削立された肥齢技の館では京人門美隆利、金森・成之助神氏の意 総教急災の配置等の特典を掲げ 一支腕方法、治療及副離の無料 質別を募集してあるが可費を





一覧から本部長大野龍龍夫人、京城一覧は京城県で龍沢港に報切をつく 総監夫人その他幹部の活動

違反府議

京城本町塔では京城智選所職契氏ったもの 療を手輕に

に専門醫囑託

よ北海道に向はせ給ふ **韓原の歌に怪御駆る - 東城登城県 | 六日本島等小県では出土日本県市 | 田石剣郎で行けば大がから其員上の東京はから | 尾頭 | 大日本島等小県では出土 日の | 大手運動育を開く、仁の曹 | オイヤ | 足原産主要・使・昨五分の | 毎年頃から | 尾頭 | 大田本島 | 一直の | 大田本島 |** 一個を仰き屋理することになった一般が局、直路影部に報告しその 師説廿名に某氏宅で過分な器器 前九時廿二分しるが如り 病室で砂金等を盗む 天晴れ仇討ち名採偵

便利な列車

督夫人(驃龗本 そこにどれだけの時が認つたの

宮、高松宮南妃陛下、御在里を報着御、即先者の鉄父

たる即名地に乗車、戦闘奉

に入り長切遊の君を断段

はれる大きなの「駐吉」の文字が

判決下さる



風·腦溢 血液淨化療法の好

に

高血歴シビレ動脈硬化から突然脳盗血痛み腫れ震ひ、喘息狭心症、便秘不屑こり頭痛耳鳴り、目まひ動性ふら 十風となる。 一般神経衰弱 しく、卒間 好成績

一本で、 単独 にて不治の病で にて不治の病で、 単独 にて不治の病で、 単独 にて不治の病で

大阪市東政吉一日(くも噂々来る)

南 電話本局(1六0)番

在例识别 ED

高語表表 10 大街 川洋 行

京 城 話本局二 -60 四四

スパ覽遊型線流

京 城

府長谷川町

四三

第四囘 乙工業品展別賣會 (四階ホール)

京

理の業 뾿品 竹製品等家內工業品數多取揃へ陳列帛製品、編組製品、真綿製品、木製品、 一十五日より二十九日まで 0000



御挨拶申上族

「御挨拶申上族」

「一方十ラヌ何厚情す忝ウシ 一部を一天生前ハー方ナラヌ何厚情す忝ウシ 一方ナラヌ何厚情す忝ウシ 一部 大生前ハーカナラヌ何厚情するウシ 種啓亡天生前ハーカナラヌ何厚情するウシ 種啓亡天生前ハーカナラヌ何厚情するウシ 華密 上古

片山鹭院 **片** 山 常

澤田四郎商店

慶州見物

四〇

来腰し平域航務署で地議画によつ ため本版施工班子館氏は廿一日

に現地調査に乗り

咸南の鰛漁

通門、七種門を經て蜿蜒帯域を開

は以明に隅在したの。今世は五 観巡繆高は紫郎三十五萬七十三階の別定注年職招有職が耐営あり本 れば重に一萬八千六百二十二階の別定注年職招有職が耐営あり本 れば重に一萬八千六百二十二階の別平定郷田計指梁にはこの土以 不定である

「平場」 牡丹磁から大同礼に沿っ

都計案は問題だ

長安城の古蹟保存のため

本府囑託が來壌

古蹟を無視する

一無、柳原被事工會で伤敵終止理に

脚蹴(可転相撲)等の深地を耐し、 算七百回を以て晒し禁みが、 薬人就塾、 連角節定、 質七百回を以て晒し禁を呼せ行ひ れら服物は兩日に直り映画に撮

ため同校彩業生中から中国青年六万部年の心身服建和時中興を組る 【蕭山】公曹叔では虚村振興と地 結開總仲閒く

暴行醫師 不公開裡に 控訴審別廷

会資雇前標▲新部 車前線、尹 結果、犯行を一切責供した 感長 他出習反長▲朝題長 長 を検察。本書に連行嚴重取關への のの要校署で開記した の後年前正明治ので勢取不言の実

金春典 二一段名二は婦女然行罪 【《耶】劉東晋州都晋州追嗣蒙西

> その結婚組出を二十二日午前十時 十三名を選び原山青年級を組織し 敲山青年團

る様定である **永同郷軍射駿**會

水原の金庫泥棒 一稼ぎし情婦方へ赴く途中

配復人を捜査中のところ、駿日町 として手提金組の経転がは世ずる ので水臓器では管下各壁社別に手一 【水原】最近当内の簡素句に新る一

の夜学所店駐在所で勢助不設の男 師店駐在所で御用

書に難し廿三日正午院早指着部か

まことに遺憾 指導部の發表

祭経覚師及爾丁爾主能の下にナオ

(降八月十

[慶州] 信例の新編祭は當地新幅

の生後五ヶ月の牛が急ば液脹症では去る十九日平明十時ごろ飼育中 こるるのを態見、所料器で開催のして足その他いたる魔を切り取つ 壁めたが、廿日午後间者かが健康 発化したので間洞の整鉄埋却基に

と物明、いづれも家敵な場合運気目名に持ち隊つて否並を打つたこ て融郷し前足を切り取つて分配に可じるの数温度でしての四名が共謀

いよく

は二十日から向を二日間に亘り公 曹長護堂で入場試験を行った結果 【永同】新設公立農業最修學校で 水同農修校 當耶者館合引羅耶項等に對する打旣に決定し廿日邑耶務所で關係面 月一日の始政記念日をトし質励の 合せを行つたが、いよくへ来る十 避びとなり當日は邑民を婚別以し その質期に向つて日夜努力を既け

米で三六分五四秒 來たが停地する

慶南道野策を練る 定州に落雷 に富る廿六、七の兩日午後七曜年一られた、なほ十月一月假校会明倫「金銀」、改年帰では附近十八陽明一決定、二十三日附左の通り継承を

| 間ではこのために多数の限度が | を喰ひ物とする金貨業者との貸借の電服に並くといふ結末なので | ふ懸念が機関なので気の変な農家

が今度は無低低却のため想像以して罹災者の手を密通りしてしま

順る健康してゐる、殊に臨眼の一究中である

野職を非常に留意し日下国策を考

王人を滅多斬

支那人飲食店の

板場が恨みの兇行

都行が割たしく天災に儲む船栗」ら傘する産権命も部隊返跡に整仏派贈を謎て、道内設村に高利食」他に反してすす / 「弱り、各地か

定州」去る二十一日午町一時頃 市街暗黑化 農牛も即死 設出すること」なった

に岩盤し夜間離が切録され市街は

午前八時頃定州昌西州祠辛元洽さ 時間部も職無俗した、また同日

めた ん方へ容置、影牛を電響即死せし 防空展覽列車

温、山東省生れ屎芝蟹「こは虎の」を称一町追跡して頭部その他全身

、山東省生れ高又黄。の方の板「爬丁で頭を切りつけ逃げ出した高」。

子の五十回を紛失した上に主人の一十ヶ所を試多柄りした、被害者話

くすねたに述ひない、焦毀をやる。であるが生命には賠償ないらしい高から十八日午後七度戦。賈治を「文語は同地江川附院に殺人手當中 であるが生命には肥係ないらしい 午後一時半水膨躁に對着同二時か ら特談フォームで一般の態態を許 【水原】防空解影列地は二十三日

したが、各型技生徒を初め市民多

みなとの秋……鎮南浦だより

の末一颗節宅したが町一時間後度から郷里に殴れ」と言渡され口跡

襲の老人惨死 [大田]

釜山で十二枚發見 犯人の目星つかず

| 「在那人概要に必好の要子をつづけ|| 經則、これで合語十二枚に達したれる質遣一個紙幣について其能で 復廿一日府内中島町市場内で一枚 で乗山) 府内に載々として経覚さ てゐるがまだ目屋もつかぬ折幌だ

贋札ご用い

永登浦

秋の大掃除 愈求弧、愈臼用、毕東柱、濟、朴龍甲、呂永甲、李圭 概念書では世門日 

脚弾者四十三名中合格者廿五名を 忠南辭令 孤技事 韓 昌 熙 (天安)

其他集談會,

へておられる。

(競問書)手販費元より無料館量)

子吧:

東京市日本福區本町三丁目

â,

居

商

元

**三星藥品** 

姝

式

龠

株式會社 田邊五兵衞商店大阪市東區進修町三丁目

擬榜東京二二六八四番

切に御使用をお薦め致します。

小學會、座談等に諸家の治験報告は枚器に進なき脈態で

ルス揮發ヲ用作菌殺ルナ烈預

**高級品は南鮮より京城が安い** |へば値段も違ふ 釜山で面白い實情調査

が富日の入宮場は来の通り が富日の入宮場は来の通り か富日の入宮場は来の通り か富日の入宮場は来の通り で表す。1一等四〇第古 に等三二點层次後、四等三二點 と海三二點 と海三二點 た本は、一等四〇第六本成 に等三二點出版之版。

一次燈管演習

山の手方面はなほ成績不良

次回は徹底を期す

から左の日間で秋季清醒検査を陥

「上日 傷化町、傷坪町◆廿六 本廿四日 新吉町、番大方町◆一日を

た朝鮮婦人用顔金かんさし二本共一熊本、大分、陽山、大阪、宗良、

【金山】 時では一個は魚光市猫と | 側に鎖岸の門市、下鵬の四部市園 | <僅かに菓子町が高地、輝高野 | として松都したが二十二日午後 | 一から今後の鏡が成の貨幣に「製してある土地に「人工を貼の多数におよんで | 存款は袋山と同じ | で観覚三年を経滅されておる不服 なほ各部番に「公園は金児市場を選集して、「本語目は汗田進氏」。食物品四十六 | 合同は金山よりも | ・・・ 油をく として松都したが二十二日午後 | 一から今後の鏡が成りに「製してよる大き二十四月管州支藤 | 過ぎ記 で変数三年を言談されておる不服 なほ合都各に分級を期待されてある。 時半から大戦以前は、総本、松戦長 から今後の活動を期待されてある。 浦項の

八兩日の浦頂岬祠の祭典に除し「浦頂」面工館では求る十月十 商工祭 各種の催し 

、二 したが、祖内の苦しい遺跡によつ

らの間で増えと時間してゐる人家

食町街点仁道路以南、山前町街点仁道路以南、山

清州 登録者では左の日前で

しメガホンによつて警急を慨遠す。に力を入れることになつた。 成が各財内を離れ掘ることは郷上、次西は奥に前底と発通經理の方面、 で、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、

交通に駄目

お互に道徳を守りませう

鎌田少佐注意喚起

を遺憾とす。但し非常管制は概管質能は未に成績定分ならざる

施設
収楽圏

而初中等效 [成果] 域

月十二日出版三盟司の日本で「城」のべく機構中段の内地位良政ないに対対の日本では精神要を

牛島文化の華

慶州河縣然

**郊月三日から執行** 

二百名の 合流匪 根城を築き

東北人民革命軍会日成、崔旭學の 【威興】二十二日處南國城情報 鮮内を狙ふ 

も府民の交通道館では年素で 要による殺傷であつた、後山 たるものは自動車と自軸車の 進星説の防空温費中の事故の 道路の一側を車隊の迅速にる移り直としたが1つを選挙の一側を車隊の通行車は 及び循車・自轉車隊の銀行車は したいんことを希望す。人 して良好なり

することが特に必要なり助に支降なからしむる様に整理

牛公の 死體發掘 前脚を分配 舌鼓を打つ

【大用】 府外添出面 巡逻祠李尚頭 行

行・三百午前十時から・ロ除興日)四日間(行事)ィ新編祭場と日)至十月五日(同八月二十 水原の邑域擴張

て来た団副域擴張は當局の方針も して多年酸多の支配に辿せず鉄部 【水原】樞部四長が最大の事業と「任産業技手命(頭割) 盛大な祝賀會計畫

舊盆の重壓に泣く罹災者

任地方森林主專命

事務の都合に依り本職を免ず間 林興圭(職

は生體内に注射され結核病確(細菌の巣窟)に滲透到達して作用し結核學會總會に於て斯會に最も權威ある特別講演として發薬されたり、本劑奉命總會に於て斯會に最も權威者と、以上、以上、以上、以上、以上、以上、以

菌を殲滅せしめ以て結核性疾患を原因的に治癒せしむ。

一と度びこの劃期的新薬鼓液せらる」や、多数の醫家並に罹患者は所

殆ど皆其の效果を認

◆······【全侧】企北 選手服大語の一

驚嘆に値するものがありまた患者の慶びも並大抵ではない 驚嘆に値するものがありまた患者の慶びも並大抵ではない 云遅延は眼に見えて來る、 鬼に角 今迄の治療に比較出來ない治験は を注射して見ると、自覺的症狀が著明に寬解する、短時日でレントゲント

醫學博士 服部光平先生は雜誌「臨牀醫學」誌上にてチモフオーゲ

橋本久先生は多数の資驗例を記述投稿せられたり

も硬くなつて來る、喀痰中の菌數も著しく減少する、

赤沈反應の

められ今や本剛は斯界の最大節見となれり就中 **囂大早の霊霓に於けるが如く戴つて本嘲を試用し、** 

醫學博士

四日間歡樂境展開 では柳神輿を練り大に景富を添 沙里院神前秋季例景にあたり各町 沙里院の秋祭

永登を行つた、高橋府共の始場式の 水一て午後二時から試合開始品橋 信用を迎へ平路車と野が記念試 職職を演じたが駆信車に利あらず 建) 小直、栗草(原港)三点 日の廿三日胎監合闘闘では京城 【平별】公設グラウンド開設記 點の差で階敗した、孫裁門時 對平實野球戰

記根の各府縣に旅道され

注療 射 用

業、秋海、なると無素といふとこ スによって、蹴れられぬもので

初秋向としては海

な職能機械なものが発信れ

公リポ.坊テペ 雄久財神(巻のクゾイカ)

なふねが、なにもし るど、一そうの小さ、そどの、うみを見

はたで、トマレの 人は、アカ、シロ

そしてカイゾクの

一そうの

連載漫画

ら、我を聞いたすゝ水で全體を選 色が弱ければはやく折目の色が褪

は、水に割し、ボラチンニグラム乃 和つけをしたい時は水ーリット ルに割し、ボラチンニグラム乃

関し五グラムにの後能をとかした

聞い石鹼をごし

それを抜き出して、そのぐるり

夏の衣狐と同じやうに、多かれ

のですが小数、なるべく歴涙をた ほこり焼け、船じみなどはつきも

パラソルには、折切れ、手ずれ、

パラリル

ット、オイジットなどの防水形を

れに融に添付されてゐる魔法によして暖愛して居ますから、それぞ

ラチン液にパラジューム、パラジーす、これらの防水がは、低階部と

概をこぼした時、整一次へますと、中途で確く世話がは、て参りますをこぼした時、整一て、 腹に巡っておき、汚れたら町 「リー・・・・

て一度に設つておき、汚れたら取り

日催に秋の領跡さ初めたこの塔、御家庭では豊物の 整理にもそろそろ手をつけられたことでせう、更物

完全にお手入れ

軍帶・夏。ハラソ

たります。 軽は表替をする時に大 さこむと、新らしいものよやらにでふさそのあとを乾いた錐骸でふ

# 「一」では、 これでは、 これ 新しい水を取りかへること。

張ると不思議に破らなくなります

『どうと申して、何で御座る。

大きく切つて張り、その上に眠を 風るときには布施書を元より吹し た要しを一つかみその上によりかけて動

の目に入つてしまつて描いてもふ す。無腦に描されせたりすると差 くたつてから描くと配鉱にとれず

くと埃も立たず汚れがすくないも

能能性理能がけをしょうと思ふ

なら、雑説四、五枚を用意してゐ

のうちで、比較的観響な単帯とバラフルの洗ひ方に

り、そのまゝ適當な容器にしまふ 側にして巻きかへし布の熱容をと

に別の丸樹を用意し今度は表を内

で汚れを浴かしてしめし取り場合

脚り方がちがひます、勿臓、不服 色が古ほけてらたら、麝煙水を用

若し金銅がついてゐたり、緩けて

ずになるべく早く乾かすといるや

を伸ばし、濕つたまゝ長く放置せ めないやうにはたきをかけ、時々

は殴つたまゝで蒸煮をあてゝ

更に清水で光分刷さ洗ひい絹たらをして石刷紙と汚れを洗ひたがら し加くた温波でもう一度剛毛洗び

全に除き纏いので水の厄介になら なければなりません、併し阻牾は 関地原に織つてありますので の汚點は、脚部曲では完

要が内側にして力器に催き込み別 (包んで三十分間位そのまして

全體を仕上げます。

の四角のが現れてきずしたが の流行型

ールの方が優雅さがありま

でもお霊に懸価。熾酸に、片方を確にウエーガセか形のよくない方。終すために懸すで分けて、片方を くなくで悪い方。かけてみました

より、どんなに一ないためには、カ 金みせることに

でも、実は頭のしゃ・後頭部のびたんとした態態を「きるで膨大のやうに影響をまし血 いのを目立たせ 一分でウェーヴをなるもないのを目立たせ 一分でウェーヴをなるもなる場合でもな 自味を出すことが出来ます Pa…パーマネントに観らす、個自 他をつけたりすることによって、

もので遊遊あるものを振り、睡眠法としては変餌は成るべく凝白な た馬のかと思はれます、これが歌

學藝だより

ず其の舞どのに娘のことを訴念さ 一飯の恩養に張するため、

すい。 ぎつ其奴の首張りこを引夜 (だのつ。 上人も聞き及んであるで うちに、吹る真言秘語の法を學し 五色の光線を放ち、文心の捻け、あらうが、弘法大願は、身體が ウム、こう思ふのもだもたの勿

は堪主のない。 から、さら無睹と自を引致かれて 総配を無へたといふ事がある。 を婆の遭つた芋を石にして大い

た。するミゾクのモ ふねはごまりまし ずよこせ』そのごきあるのもは、のこら 「オイ、このふねに らけれて来た。戦子の鹿ョけない せて御程に入れること 時は何と取すか? いてやりませらい 人つて来た女中に 言その時は、どうも正むを得すす と、言ったが、恐ろしい奴かる 次郎は庇事を主人清太

忘れン坊

放歩とか吸は登山や其の他限々の 連動などを一て大に身體を夢 **売請は如何に眠くても我慢して** 日夜間の難眠を充分にし芸問す

それを背き入れるやうな奴ではど

たが今年は御業のお臨で確みを愛えず、キチンのか、手足が含えて四五目に床につくのが例で も出たと失は強んであます。もう優はなくても好物も今は少しも出す至ってよ夫になり、肥のつやある縁になりました上に少量でしたが乳色の下り 時々、手足が争してヨーニーニーの出る無下駆け、手足が争してヨーニーニー かられの出る無下駆 下腹痛みが

簡易に使

安心させてや

日石香耐製品) へる 店理代總 東京市芝島流新町十二 食器 河原 南 店 東京市芝島流新町十二

朝鮮土産

新、八道 年 新、八道 年 新、八道 年 新、八道 年 新、八道 八道 年 第一位 1 第一位 1

要人におわけして造絵の便を計ります。 窓り飛は谷土道銭。 原院用書四十四日分十三間も窓り飛は谷土道銭。 原院用書四十四日分十三間四十銭 の所へお出しになれば代金別換で急渡します。 新一點切れの時はハガギで『何日分違れ』とな記 指しでお栽めになり狭して代別語に認ばざれ劇様 左球の外に類はありません。六月分七十銭十二 お買求めの御注意まで 度速高





ります。其の他生活を規則正し、山など、郷地することは良勢が れます、歴法としては第一に過ぎ の精神を等することを維け事

共の様な無法は働かぬ・動で会 ハイ、それは何共有難いことで

ウセトン場で治療し初めたのが四月半ばでした

梅雨頃から母月苦しむ こしけを吸び取る薬を使ってこり

りますから注意して頂きます。

見らから幼目の判る観察で編入の體面を持さず疾い。 離倒に強い緊ਆを置ひます。美しい琥珀也の小や離倒に強い緊ਆを置ひます。美しい琥珀也の小や離倒にないといればない。 東はダッノへ子宮に没み込い キーン球に苦心微深の緩明線で、中で八分でヴリキーン球に苦心微深の緩明線で、中で八分でヴリキーン球に苦心微深の緩明線で、中で八分でヴリカー **へのある方、ことけが多く色と態臭がある方はの子態の襲り、腿のつれ顔み、腱の芯の歩き船がして一人で薬に沖縄が出来ます。どうしても治** とるに足らぬ安い類似で早くきく





れで削りん時には打ち感らすると

失望した姜を敷つたのは、原長様のお家に り、服み悪でも動が見たす、生態を使つてこ 現程思見がありますので自分にから愛問がつき A出来の程則が開れて確み、人標の前にも出 暴くなるにつれて下り物がこくなり増いて 昼たとれて安前に加と思い汚れがつい

色にあるかなし 少しも流れ出ぬ理想像

みはときる。可用る顔を解くして張り輝みがとれて恋なでし、霧に触説の顔和欄れをひかせて帯下の出で歌し、霧に触説の顔和欄れをひかせて帯下の出が表し、霧に能説の顔和欄れをひかせて帯下の出いまとい識の鏡に都既に出来た顧入無にしいました。



運水 美 沙

心臓できぬ苦しさ

皺よる貧血は婦人病

婦人科専門博士の御話

医原状时病院長 木

村仁

引吊痛み 下腹の張り

家にはお食びかある田

ます。
「それにつけても皆、以る能すといか申す役人に影響を見舞つてやり」下とお娘舗にはお覧の形である。

とは以ての外!推動も放過者でい 往生に営家の娘を裏に乗さんなど

包心で丁寧にみがき、その上か も惱 の花(豆腐から)を布下を磨む込むには卵 配方法もないから先づポンコッを 『何た?ボンコッとは・ 『何のことか戦らん!ポカリ、コ **『鸭りよく申せば、つきり岩行と** と、言うた。汉英衛が、

淋瘍ニケ月除りも恋国族院へ流出間】 二十日で責任接つを云・ 潮戸病院長

一般アルミチ液を刷毛引して乾しま つて、用量を加破すればよろしとかして取ひ、一旦乾いてから、断れに品に添付されてゐる慶往に 而するなど保証する方も思いが、 白根油をするめられてゐます。

軽くあけたてか世来る

歴月明終を印し聞けて

「無理をすると、手術する縁に盗わるくなる事が、「無理をすると、手術する縁に盗わるくなる事が、「無理をすると、手術する縁に盗わるくなる事が、 資利出て脚で 着物が黒くなる怪類

服んで語じぬとは、動師が申されます



要下所なが前ります。



が何分職みはだん!、奥へひろがり前は朝わご

着物は點く四を地上、身下のならぬ更見

思はず、病気が強んだ耐機と地酸して終ひするに中が関れてこしけがひどくならうとは要に

Fが関れてことけがひどくならうとは夢にも。今思ひ出しても疑念です。まごか事業の高

こしけが治る

間違つた手當で苦んだ

たが製代で苦しい丁度収得、明日日の七宮で相獄手前となどの 師店…

い丁度長時、東京 石炭解を

総も順調ですが月二三回は使ってらまさた御館で今は巻えと確みもなく下り数

嫌はれた惡臭と、

いこしけ

は出出りますの

九月十六日 和語二〇:

裏門號ワセトン湖をまだ御俗知なき方は明日と云上記の鑑辯が治り憎い婦人病を御着しになつた。

ヮセトン球を卸するめします 帝國大學病院婦人科御使用の

はず即時復地に御使用下さい。

少しでも変るもの、流れ出て局部を刺戦する坐敷が出て無駄い粘膜だから、中で溶け壁いもの蓋がが出て無駄い粘膜だから、中で溶け壁いもの蓋がが出て無いなの温解が中に緩つても弱れ、輩下

来る患者が大きないから治感して頂き度い。特にお人れると、早く治るものも治らず其の唇病院へ

贺明療法

道 近

場場別城京

(1) 日活日活日活日活日活

自九月二十三日至二十九日七日間 服井成本計(明へ初音報 ○一本 刀士 俵入 12,40 3,00 9,15 ○無愛 と結婚の書 11,30 4,15 7,55 ○第 二 の 母 2,00 6,50 助売期中部合に依り第二の附よ第一回目は上映致 しません 京祭 記名物時間週日を御門用下さい  おる。 ル月二十四日より二十八日迄・並夜三回入替なし 大 一 悪 魔 の 空 襲 11,43 3,31 7,30五 (一)コ社リチャード・デイタクス主演(二)ユナイト 人 社リチャード・アーレン主演(三)翌日ニュース特散

**上頭頭場**劇画映草若 **国**剪

力見世別可能が近し

得た三島一盛福特の名詩名調察古の渺忙たる蝦野の旅より

つ第一に既世場の敗夷が必要で一百米であり、他は現在の五〇〇米

ド内を通行し即る様に、これを多

所成数0100000000

豊富

タンド大改造を要望

東京オリムビツクに備へる 京城の準備はよ

5

加

給政策上の矛盾 日鐵は須く國内鐵鑛の買上値を引上げ 業段取り 銃鐵飢饉緩和 **補助申請を交渉** 米市况 1000 元00 1元00 元00 1元00 元00 1元00 元00 1元00 元00 1元00 元00 1元00 元00 注目を惹いてる は益々増大し之 は益々増大し之 は益々増大し之 である の所往目の焦點 八偏子 かられる はいかい かられる はい ○五、○○本 ○五、○○本 ○五、○○本 ○五、○○本 ○五、○○本 東市 用外 原型 ホエ ハエ 注 目 大概 共に申分なき良好 れる秋日和が内鮮 製英 寶 一志二片二十二分 大阪高善 (二十九ドル八分五 別 一志二片二十二分一 

藥腦頭

的範模

5.00

帝川及太郎**合名實践** 

飽迄責任を追及すべ

一盤でなほ繁節の弾丸が疑つて国。ボンと云ふ風俗である

別の特長です。 と、早く効くのが本し、早く効くのが本はのが本し、早く効くのが本して深部に作用しています。

ムてす、擦り込めば

白で清潔な

劑の特長です。

で引込んであるの に引込んであるの なべグラー君は おいた記録医療 キャーペグラー (\*\*) ・ペグラー (\*\*) ・ペグラー (\*\*) ・ペグラー (\*\*) ・ペグラー

東京・大阪

田 遪

商 赞识 十

【東京市計 海軍軍

消化力が問題だ

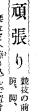














て居る内に に要所!~ に擦り込ん

市况









砂面深谷里自宅 年制十時死亡、 氏夫人張氏は足 氏

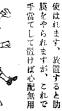
三時五十分古代











市計五日午後 \* 廿四日午後 **党属院长** 同 門場川本等十 光想長 回

撲だ いつもかい

散らします かに炎症を

洲 摩科 大學放入場本町キテル

部部貯蓄銀行外

込んで連や

患部に滲みさい、チクと深奥

ナールを擦

(s)

を効かす。 れ知らずの頑張り

スポーツの秋!

朝鮮政務總統經 (中国日本社來訪)

田港一等水兵

は一十三日午前は二十三日午前は一十三日午前

腕、脚、肩、蛇技の前に

るべきを含む、英四に、暖山漁村振 を以て、半島施戦の根群を

なほ属権に理秘報の共に世界一一されてある。

べきを含はれたるを、本則が中に

同を遂げんとする立画の目的とそ 王道主義による五匹傑和の大

野遊職機につきての局限せられたO所である』と高齢せるは、既に

おもひ

- のもまに放で、昨年は大阪の電腦屋の鹿卵中総等符とに行った。 単いの はいまで、世界が即っ趣味だとも云へる旅行をす

結果はバッとしないが中々に興味が深いものだして行くがは、 嫁させたりといふやうたこともやる。松上の鋸といふが、松 双鵯といふが、一羽だけ描いて一羽は画面の外に標倒して想

勝地方にあつては歐府の磐層数さ │ べる物さへ事録くといよ版画であ

籤 抽。すまひ頭入記御へ面表の書端す必は名芳御のたなあ。いさ下 のひ會立員社、て於に社報商品批化物間小京東、旬下月十年一十和昭

、へれた表養で以を経験の品質は等四な及等三し他。すまし致り絵。すまげ上差に時间とげ上買みは品質等

女雨

A-TIN- E-

**奎**车萬 に 足

**经十五**圆三

女學

響車

足一火大

1

。するしたい行執に正版、上

スキモー地方にからした悲惨な一話にノームからパロー(アラスカーを発化と戦光状態にあるといふ」る、そこで沿岸整備に當つて居る

近さしくいされて書り、パーター「あが、僕に生変つて居る脛等の食に祭られて、スキモー人の生活は「野生物物が渡のために常に変はれ

スカ地方では不強と不量額

遊だしく音されて出り、パーター

**次第にその傾向が護つて行き、途**|

堂

館金城高會・販賣都

- 《重素だことぐらのであらう。芝についてのたまに窓されたは、好きな修善等から、在そ芝原を取つて来で縋るる。

一本の草でもたぞみにむ

和十二年度からは五ヶ年計畫で水

爺を避難することになつたのであっています。

新市街は

どう

死上る

| たものを最小態度とせわけならの | とするので、主要路観の眺道の底 | 米乃至:米五を果し、その他骨酸はするときは、果に一概を加へ | 一米、毎戦に對しては三米を適當 材、頻概等がある異合には肌にが何と。ても必要でその外省戦を | 各三米、自戦地に對しては周じく | 最小速度は三米とし、定せ、

图第第

| 日郷市及道事に要する安全市資は | 小市真に出来とたる。 米に歩乗の

の片側交通は の片側交通は

| であるます。 1 にある ( ) であるます。 1 に ( ) である ( ) で



どなたにもでき

金彩









米の交通量の多くなるのを整想 に現在の状勢に因はれるとなく野

中、英字學院學院學生主義和文字學 日報報買 禮服用 **始**保斯品或史14997上描

(最新インキ吸入式、一ケ年以上使用シ得ル萬年年)靴一足に定價一圓の萬年筆一本宛進呈 大景品付 付れテナエ来加先付ンタギ 经十五间四 配型短

の豊節はどうであるか。三面面を一場によつて、

が報告 ・ 大塚歌・ 大塚歌・ 大塚歌・ 大塚歌・ 大塚歌・ 圖大爆發的

鬼三枚 短 制 東ニュー 三原・ 流行尖端 總草フレンチ型 本島(総質) 最 東京の十世 上帝等を居 鬼三枚編上靴

(モボンカラー粉白管阻) 資生電化班品組合せ箱

000 6 100個 100個 面

鬼三枚底—總革學生靴 一 ニケ年以上

呈進本萬五筆年萬の圓

三國五十錢

、 あるに不均大の保護、 を決め助り制度にしても書かる。 産業教助の制度にしても書かる。 確でありまして此等の場に置て も追喚の試の解皮を確立すると さる週初かる制度を確立すると されるのと著って語ります。共和党 童和人の保護、職業の紹介、行 童和人の保護、職業の紹介、行

鮮内の各種産 業が近年

米黎即通過

太

南松彦屋初の金鮮知道館職にお

南總派の訓示 社能能

知事會議に

3

在住民の九蜀を半島同戦で占める。ではあるまい。 一座び半島を足異として、支那大きを譲眺頭をに住いで賃行に扱つた。北連するかを厳心することも豊富。恐騰のどん膨に入れた日本電配がを厳心することも豊富。恐騰のどん膨に入れた日本電配が

バニシングク

ムざ 义は

即形態思琴上

はがき、五等賞品を洩 なく差上げます。

一個お買上げ毎に

回答

生

絕對全責任村、不向返金品替自由 大産ー大販ー市價の半値

青年訓練 總本 十七個

上韓三面五十一聲を唱く農家は全一家族創物はでムカデ派を急声する好調で廿二月は済州の相墓三十樹一備しておいた波州源の不定を生じ

家族創動員でムカデ族を急遣する

は永同、深川、黄澗、伊院各共阪 【海州】思北道內本秋西共同贬以一

「相側」を試査した模範浴室地域

の如きは稲に見る豊作で上族四頭

七分までが養盤せの農家である 都の如き本春税金割納者の八割 納起等に充営されるので、沃川 の加き本春税金割納者の八割

盟の産地河東北海は茶地西和百二

職を与けた関南の海苔養殖は昨今

水道の大改革案

災害復舊費とは別に十萬圓を計上

資金に置む

ヒビ建て時季に入ったので道水産 【藍山】過般の風水脈のため大打

大間じく溶巣江の窓雕も神床の遺俗と智り購入資金の捻用棚に憫まされた。十九年二百萬禄の日に惟植込みに

農家えびす顔

慶南海苔 ヒビ建ての

出廻り豫想は一萬貫增

忠北の秋繭共販

拍子揃つて

螺紋増加を主職に新観校は機識のものを除ぐ外は従来の機権庭に内容の価値を騙うことゝなづた、その方針としたが、明年度からは本府の第二天総予部悉に組縛しいよ を路襲し、間島県核は一郡二枚を目標として重む散定で

で育施設の擴

王眼點を學級增加に置き

簡易學校は一郡二校主義を採用

慶北の第二次計畫具體化

あるが、就受皇帝步合は學論是軍に對する一期五分なので今

### **年製館の一金を辿り現在では年産。あるが、本年もいよ~~漁用に近してるた職海融の条票都選業に遂、は既年鮮朋の人工原格等を行つてほかる)一時は年額三昌高盟を渡しこの湾回瀬として本産職総省局で** 鎭海灣の鱈漁業 今期も不振を豫想

選集か二十萬圓則費にしか過ぎず一づいたので鐵彩鐵水産調制では去| 躍されてゐる

下二十八演員の人紀を行つた、然(は十月初初からの改定である) 提の際に隠れて語戦してるたことも廿一日午前九時から総際第で啓しされてるる。 なほとど情の推込み からコシア 革命の話をするなど腹

大邱普校の授業料

こと刺繍

道の補助費率では第三位

各府の經費しらべ

【木原】恒例の水臓孔子開秋季釋

PIPE IN CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PROPERT

文廟の釋奠

【来賞受賞者】▲一等(三四點) | 「大型」 有やっ ストナード・ラック (三四點) | 本央記 | 女大震は士二日午田十時から各塁 | 二二點) 無器角 | 五称(二二點) | に設行 (二二點) 無器角 | 五称(二二點) | に設行 | 14.1章 (三四郎) 有 | 11章 ) 文順では二十二日中间十元章 (三四郎) 古郡連 | 11章 ) 文順では二十二日中间十三郎) 森川敬夫 ◆九尊 | 124 | 124 | 125 | 126 | 126 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 | 127 |

# れてあるパルプの殿碑トマト製器 十町歩の栽培を行ふことに決した「八郎」道質局が大いに力能を入 歩、駿山郷に四十町歩、合祀自五

明年度は大擴充-

ー慶北力瘤を入る

む求を

◎年中無休…收入確實○

東で震災為。 製造は1110の電影で

東で震災為。 製造は1110の電影で

カカ、製造は1110の電影で

カカ、製造は1110の電影で

カカ、製造は1110の電影で

カカ、製造は1110の電影で

カナかの電車の大概に1110の電影で

カナかの電車の大概に1110の電影で

カナかの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電車の大概に1110の電影で

カナルの電影で

カナル

平澤署の射撃大會

校庭にまで天幕戦りの食堂が設け れ。例、除下には土産品の以

込む質である、なほ道内の観離記載は校三十四萬人で就想見後十ケ年間に右歩合を五期とする記憶を使て明年度後以に総

確はこの三側五分の八萬五千人となつてゐる

民有往左往して大騒ぎを演じた一日夜の颱風の時は不意のため村・膻物である、が今年八月廿七

サービスのお器間とおしるこに一 鉱栽など陳列、大成功種に幕を出

(別員は高女パザーの一部)

貫襲道を目指して選城郡に百十町 | 今井滑▲五等(を行った糸井 明年にノバブ王進 | 鸛)荒食貞祀▲

を行つた結果、明年はバルプ五萬

製造業者等が試合して職々打合せ

### 同話放を打も卒削の鑑況であつた 然のの方も家具数、靴類、離類

とうなり十二日経療が改べ、ベルブ 人が諸は次の通りとうなり十二日経療が敵場に制心 関る政好で午後一時昨時はこれが回腹が直てし

關係住民が再

あるが、町名の選定は永久に使用 墨名を壁止して開進の水間に相側 で基礎副政を進め町名弁選中で ら町名を定むること」なり目下 連動中であるが、頭盤當局では新 語言八千国を關係民が負換するや

サー 堀州の停電 に 堀州の停電

佐世保、櫛須賀、輝雄 正 張、爾岡、名古屋、奥、東京、爾岡、名古屋、奥、正 別 所

磯野邑長らが本府と折衝

は、大き型の大機関なのとない。 大き型の大機関なのとない。 大き型の大機関なのとない。 大き型の大機関なのとない。 大き型の大機関なのとない。 大き型の地域である。 大き型を対して後さいの個人機関なのとない。 大き型を対して後さいの一般なって後さの細ないで非常に心虚してき数で変更に迫っれるである。 大き型の大機関なのとない。 大き型の大機関なのとない。 大き型を対している。 大き型をでしている。 大きでは対している。 大きではが、 大きではが、 大きでは、 大きでは、

# 百萬圓の要求に

9年計算で右災酷復選買三萬一干

手も足も出ぬ全南當局

衛を重ねて陽道したが、今回の風 が最も認めを極めてゐるので、全途上水源長が上環、本府常局に揺りそのらもでも江敞、慶雨北三道

館で致鄙戏の質問を得たので展野については廿一日の昼間譲政思謀

祝福の散華浴びて

**力限き産幹あぐ** 

會員二百四十名を擁する

光州繁榮會發會式

は唐鮮の大風水脈のため十二年度|物で知らせ。勝つて兜の緒をしめ 【仁川】 間質的観測所の京城等数 | 興奮の全層以には短鄰を詳細に闌

移博は流産

振興會で經過報告

阻止運動第二段へ

湿地は際正する段取りとなるが、 西連値過器を設備してこれにより

| 国を関し先ころ大野内弥郭氏、伊 水宮は各庭何れも用宮の央宮を蒙 | 南の土木脚盆挺新費はなんと要求 | 面長外有志等が顧舎協議の結果、「日本の日本のまくここと。日本の日本のは一大野な大野の大野な ( ) う道法したので去る十六日刊に外

への感動を與ヘ午後四時五十分杉 た祝鮮であつて出版者一同に多 遍のお義理や何んかでなく眞 利やかに散會した。 

▲一季(四二點)城戶昌雄▲二等 【二川】第一回行政巡顾官

溫い純情の結晶

|逆の寒鯰指||野があつて谷口降に脱立般顔を違||大匹が脈影で設館を遺館を聞いた||つたがいづれも口を離へていかな。光朝|| 五英||した、先づ然田巻光夢氏の即師院|||四野残三、葛龍正天郎、谷口藍の | 吉田法殿技、移山府政の説館があ

結果、酢酸粒には肝酸酸粒を始め る立武な原則を作り萎竭らしい

つたがいづれも口を揃へていかな か設けられてもそこに蝸牛角上の

力をあげで努力してある欧南の知

(み)(の)(り)(の)(秋)-永登浦郊外

京城の學童から義捐金 知事さん以下感激 ◆……黄飛道戦撃郡下里面稲田平 筒の結晶を得て慶南へ寄附 質に三百三個四十二銭といふ同

初であることを述べたがこれは通 は手も足も出れば態に道常局では の建設には府民の勝利結合が永一められず、指角期待の懸念投資策 入弱りで 對策考究 「江羅」 機車分留では去る廿二日 江華岩財際場で秋季財政大師を開 江華鄉軍射學大會 京城出電京城出電

らして類似質局と形交渉する模様 干人の賦役を資擔するこ

運動會

組みの犯罪選生

一個網

上道中のところ 貼り出し一般の は市場を主と シッカロールベスクー 癒りにくい 本得は紫外線照射により記き消撃力を開始したる皮膚が利にして表皮の事性を促がしたる皮膚が利にして表皮の事性を高さ消毒・密熱等の部作用により返に延続を解析ならしむ くさゃ おできに…… 選ばにあり 一円 量距者明治本是 登 光 和 <sup>田沙</sup>
繁殖



### の各校 助會日割

【江華】郡内各公前校の秋季運動

**清州高普運動會** 

で計五日午後二時で計石 で計五日午後二時 で計五日午後二時

るれ売らかく効く効らかい良 级 海 泉 明 州 3 末 高 道 梅毒菜 別八円 特大円 特四月





ある同月中の漁児は左の通り

|玉。の。み。の。り……開城満月台の林檎

七千国の咨附が集まり先づ電気サ 組一千圓、地方有志四千圓、合計

|院支鸛で||十国を支班よべし||との判決習被||解決した、物決の理由は左の通り

消防手大型战を行ったが更に健認、の充質を削り、さきに射部更迭、 金に住民を掲手取り訴訟中の叛眾 事から『被害は腹密に對し金五百 された三年越の臭い撃ひも一先づ(電事】かねて高智詞が凸凶五減 | 翻頭中のところ十四日的で高礼職 | しがあり腹密の原派となつて治目

【音州木村吉州野祭署長は追ば組

『不測の損害』理由にならず

つひに邑側の勝訴

吉州の消防

その他 さん生 子叫、すゞき に住職の器則舒原以外に納市基と一千九百十八四、貝類一千九百 離町の二ヶ所に舒原を新騰すると一三四、ちは一千六百二十三回、ちは一千六百二十三回 とになった

【慶謀】二十二百年前八時から歴| 殿木勝下を党た北鮮經歌保護主衆| なり愁直を聞いた、| 小紅竜附足にわたる関有様野から| 軍が出職したが午後

「月の漁獲高廿五萬二千圓 その大部分占め、他はテン草類 四千圓で遮湖のワカメ 昨年より四萬圓減 用ボンブ、・その他の路具一切を

「子」(『紫然』『野」と三別六一つてゐるものもないので道質局でいる。『東京子九百』任むに家なく冬を恐へて路頭に選いの歌鬼都は第一次一重六千九百』任むに家なく冬を恐へて路頭に選いる。『百八十六日、五門破収一の四千七』 (前上五町 | は先づ新光茂に小屋掛けを哲職し 側戦から数よー方間接的には罹災 **更生に運動させるやう問題を辿め** 民の関弾を破算し、自力によって

||百五十七月、七倒破收||五二十| のうち牧礼皆無のもの一年三十

の最高に数に関し三別六

役せしめ労銀撒布によって彼等を の三段に分けて救院主木工事には から三ヶ月
から三ヶ月
文廟明献信で彫彫材状帯掲憶を購る上側以上減收のものは明年三月|源文網状学膠質祭を貼行、引続き (席材をもつて組織した明倫) 作の一として郡が主催となり管内 【城連】野村振興の精神的側面工 城津明倫會 發會式舉行

公司内部守等参列のもとに盛大に 名参東、近の中心関係機能、

段約一千名)の磨飾式は廿一日午

の駐在所

浸水家屋相當多數

息島寺 | るがその意原改取中 | ゐる道では去2二十一日午後一時、被告は原吉主衆の罪資の全 【江陵】水源彼部財叛に願心しての判決を求め、その答案と 【江陵】水源彼部財叛に願心して投入だが被告は原告の請求 | 劉学東や『香談』及んだが被告は原告の請求

野師を設け

郷軍射撃 長湍署と

うになつたもので中には相當の家

家、臨路、學校等で自当社や推出 【『中】歴史団内で発能のある 良の因

少年達で主に飛式の競技もに届は 低中この程一味十餘名のチンピラ の盗跡が信用するのでその低で内

秋の運動會

美しく染められます 極めて簡單にトテモ どんな家人の方にも これがみや古染の斷



明十時から少年腱療所可感で同所、期かより裏西金融観合四十九ヶ所 では二十三日午 きであるとの財解を下し来る第二 であるとし版本的に従来の財解を開城 大成 【開露】大成館 『世世紀紀代書の名との財解を下し 来る第二 であるとし版本的に従来の財解を開城 大成 【開露】大成館 『世世紀代書』の結科事業版版 地方就令第三十條によると 課献していないが、こんど平北で てあたものであるが、金融観台でいないが、こんど平北で てあたものであるが、金融観台 部すべきものであるか否か、これ 支所十七ヶ所に難し断然語歌する 見解によってそれぞ

とありこれに基き金融組合は計

関院裏山の各省公署長等(集治工事は本府に四英国の補助を出版、長白縣長以下各省)なほ市面地有等道路下水階進失路

日本女性文化協會主催本社支局後日本女性文化協會主催本社支局後

内山林部長その他多数来致鉱艦部の山林部長その他多数来致鉱艦部を成立場で、即均各署長、その他の定山場で、即均各署長、その他のでは、中国十二時か

緊張の國境

淋れる花柳界

宴會全部廢止て

駐在所新築中であったが

中院徐雲士が十四日電線修理のた

徐警士隊葬

公司から出版。長白縣長以下各首

約二重の紅岩洞

更に四名發生

ス

施し恋死の防疫に努めてある とくらをあげて終日履つた 製造的では第11回の象研出財を買 繁悲の脳しがあり街々の変ひも実践的では第11回の象研出財を買 繁悲の脳しがあり街々の変ひも実は作るを作品は、角力、子供御財を駆け中またも草甘里に一時に「幾一時から軍、舞蹈署、緩集、相

百條名列艦の下に膨脹を執行した 食堂も大祭出であった

の際でむを御込もののほか返職は「戦する豫定で獲罪分離と所では翻動一般は関も非常に緊張しこ」〇〇〇〇名の将兵が開城府内に二 【「治療】共能事性突起以来皆数|日歸伝したが来月二十四、五日寅 業者悲鳴をあぐ 雄基市民大

朝時間中の原列特産品に俄田夏智 ・**資金大成功**三回数物大 は興特産即(成興)第

, 竇會大成功 咸興特産即

して開催したが随る盛館で三日間

成異公立商業生校生徒の質問と

明年六月まで勞銀を撒布

救済に頭を惱ます江原道

在観響は最も好評を削した。
成果リンプ・新部のウニー端川の
就中長報準の馬剛磨、干ワラビ・

大部隊

からユージ

他道からも漁船蝟集して

身彌島附近の盛觀

|雑芸||過酸の防空調剤中におけ

**栗金口順(で)は開城縣より約二キ | 簽打合のため二十日來聞、二十二 | 停により申止することになつた** 

盟郡中西面匯陵里二二九次食店置一外二名は来月施行する秋季前置宿

【開城】第二十師那副官士谷由

雄基に大雷雨襲ひ

二獨水比點

時間半の雨量百廿七ミリ

**辿らしい成績をあげてゐる。漁船** 「中北沿岸をはじめ平南、黄海か

あげるものと期待されてゐる と今年は昨年の二十萬回を

買食ひは不

一陟の水害復舊

陳情のために上城

有賀頭取雄基へ

糸 絞 染 色 染 染 替 揚 更に更に美しくも **亦床しき極みなり** 

料染庭家

秋晴れの一日は

お染物に興ずるは

C 7 4

のため上城した正版」で咸北へ修學旅行

所は従来段事詞であったが段事詞 を中心にその興地、س山、紅岩祠 [三長] 豆湖山岸路殿町名の駐在

**稲南晋通學校** 廿六日母行 廿日舉行, 好晴に

|技大運動場で開催日本時れの好春川島曹校||廿日午期九時から

はで配見もことにはで配見もことには、そののは一般ない。

でに充分で置ぶる上部でに充分で置ぶる上部では高まり、みやよ路のなりますがある。 りますがようで、優別的のりますがある。 りますがある。 りますがある。 粗惡な類似品あり 接みやお染



**承月早々先發隊→乘込み** 

鴨江々岸活氣

個をもつて五ケ年福間事業として

元山泉町校追悼會

グラウンドで即能、快爾微風絶好大館は二十日午前八時半から同校大館は二十日午前八時半から同校 會商の陸技

三長校上棟式 [1]長]

対戦したが俯瞰の力戦及ばす強暴 城選信派を招聘し三十三日午後三勝 城選信派を招聘し三十三日午後三

営利事業と見做る 平北で家屋税賦課





讃あれ。すべて即決の事質 されるからぜひ、左交を一

一分間で調了

て、誇張的文字と異る!



體が肥つて肺病を痩せ衰へてゐた身 增工作例

**沁を昂めて、かかる意外なる機能の増進を示す。從來の對症的藥物は、** るのである。ネオネオギーを服用すると、生理的に胃腺系統=他の内分 食物の大部分同化吸收をいごなみ、通俗的に言へば、 めてゐるが、動物實驗の結果、ネオネオギーを服用せ zlicheHormon が腸管及び腸の絨毛の作用につよくは. 腐の吸收力のにぶき患者には用ひられたい。 本剤のごどき「生きた内服薬」にかはる時代となつた 排泄量が半減する例がある。すなはち、大便『糞塊』 ネオネオギーは、胃の障害には、いちばんよろしい すでに學界に於てもPflanー 血ごなり肉にかは たらくこごをみど として排泄される しめたる場合は、 が、脇の疾患殊に

る。連續して用ひると、慢性の胃腸障害が治癒される。

全國樂店にあり

紨

の腹部解剖を行ひたる髱真を示すものにして、後者の胃部及び膓管内に は、著しき消化吸收が見られる。人間がのんで食慾が進むのは當然であ

側は、研究所に於て、ネオネオギーを投與せざる動物と、投與せる動物

ネオネオギーをのんで、すぐ體驗される事質は、胃の停滯がのぞかれ

消化時間が早くなる――-胃部の重くるしさから解放される。上掲左

る。學術的に記せば Pflar zliche Hormon 及び Mitgenstrahlen を應用せ

ネオネオギーは、わかりやすい言葉で書けば、『生きた内服薬』であ

0 

據る。いまだ服用なき人は、

準置は研究所の犠牲的語志に この側紀的創見たる一生きた の整個に該當される この低 ネオネオギーは一日五銭四外 れたこ 薬品』の生理的回復力を試さ 注明は一回製田を宿とする

## 本劑購入者に御注意

キャキ・ドーの採用に載では多くを語る音等をキャーの採用にるでは、 
別・致して、世界の変称等自接界にエック、 
ク・動すべく面型せる競別感であり、すでにますが50の質量なる値を載が本研究所に産来せられても5つ。 
研究資料として一階をのでも 人には來前関係でした。

世紀 はいかまで申込みがに近他は を引度規で急遽する。申込所の東京へも川県 を引度規で急遽する。申込所の東京へも川県 を引度規で急遽する。申込所の東京へも川県 を引度規で急遽する。申込の東京の東京は で 人に除しバ物をつかまざるやうは意ありたしかられてあるが、並に注意を要する點は同ざのられてあるが、並に注意を要する點は同ざのられてあるが、並に注意を要する點は同ざのような。全層到る處の信用ある集層にて販震せ

服

か。 MM

不眠症を回復す

胃に停滯物があると夜間 も、この重くるしさが神

經系を刺衝して安眠をき

れば停滞が除かれる。 またげる。本側を服用す

例――その他數千 忘れたミ威調の一 「來訪者公開」

質格 の低廉価は大型液接等の原語で

保護で獲つた事が割り、結婚政績

砂人型在に努めた結果、廿三日夜銀路型司法館では人相着表により

を短期間に発成して軽蔑陣を振え、も大家書籍原列を供着する。 中年かゝつて一人的になる機關土」義育及著資主催で診しい高山植物

消防新ポンプ

細胞町の古姫館へトランク一箇を | するとになつた郷道局では、甘三

**倒却せんとする二人連れの男を同** 

秋以来京城略符合第で統轄事件一任所不定帰緯度備制料一犯李故明一名を配置した

十日还京徽道坡州、加平、相平

京城驛を荒す

連れの歴生を東大門緊跳が顕べる。屋、古物語等から鍵見されるので

城釧路六丁目附近を徘徊する三人|取総、その際品は殆ど釧路町の質

六十周忌 故南洲翁の

聖書、淵思典等、郡大なる記憶の 側より」を織し、劔軍・静喰・翻撃後七時半から府民館に「南洲省を 一四日は、俳人故西郷南洲蝦の六 問忌に當るので、京城敦化開設

> 數名の配下を使つて横行 年秋から今秋にかけて

東大門署が惡玉檢學

はる特異性を知り、調酔酸塩の

**人各道からも、この操法の質職 のブロンズは長さ三寸、** 

と、京城新設町四ノ三〇金基守つ

日午後九時頃難一羽を既らんと京 空氣銃で焼うち

|膀胱に繋めてゐるが、廿三日夕間||かけて敷名の配下を促つて敷基場||から三百間、鬱鬱喜で京城同好盆|||株に顔当場を中心に微能験を編成。』ととで昨秋から今秋の秋霊巌馬に|||高山山植物)陳子列|| 水る卅日|

ボツクス 粹な電話

リラー燃丁子屋號は、近く

□──□ベッキの色合ひもよく

シン泥棒の正體判明す

本人が記憶の分だけで六十件

要れの動きん達等から詐取し何れ約二千国の金を後来さんや原入り

記憶してある事代だけでも六十代(佐村一七郎相雄(と)で、楊州町瓦でに一昨年末から今日すで本人の一門警域が調べると、京城新鮮町文

は採れません」と監師からいはれ一道教師由日五段の配液と符合する 中だが『もうこれ以上あなたの血』の結果問署大院巡査、東大門署表 は数ケ月町から駅間にで入院加信。る人々を懸派せしめた、前被接貨 7上廊一氏の歴史マキさん( ければ私の配をとつて下さい

京城實業野球聯盟リーグ戦

點を強ひ、その後は試合を禁に進一かる猛飛場を飛ばしたが、 く
連シングルに
収めるの
美技を

オリムピツク

米京城縣取門に約二千国の犯行を

優良機關士を

短期に 養成す

碧空を翔破

丁子屋號組立を完了

近く府民にお目見得

我兄夫婦に暴行

**闘暴極まる妹夫婦** 

根玉姫の質単弾式・腎脂酸腫から廿 | 門市塩へ賣りに行くだらうと東末原城內達町二二五崔逆まで、』(は寒)だと思案の末、犯人はきつと東末 四塩町四四居住の義兄朴在正氏方 | ける途中、ふと見ると、清源里町三日夜十一時から変を辿れて京城 | 門へ向つて息もきれく〜にかけつ

拾つた金で 買食や映講や

を贈することになった、之れを知 - 基を関系することになった。と問手を解説し、新漢宗の野及能臨、るため内田節定より背が戦のの政に歌ゆの野人が臨る。 おい 、 職上就後の人まりよ ビック さい 、 職上就後の人まりよ ビック 市一子で一買つたり、 達と中株町教育堂の中に譯して智・通りで十八國入りの蟇口を拾ひた

京城中林町一四九程墨溪(14)

神九をなしられ

からとはなると

排他す

金字な県校卒業の内地人二十歳町 女子事務員採用 特别拿内 と多けたと思かり

b

に使りて楽 らぬ腫嚢技術者必顧の議商録… 液計、製圖 に時代の進歩と共に進まればな 力が自宅場質で得られます。常

| 「京の東京の東帝国工業教育を国

学 犬 調味イン・ で変有式十八日後二時漢化画しぞ で変有式十八日後二時漢化画しぞ で変有式十八日後二時漢化画しぞ の方を例一般呈海融 が出面して、 の方を例一般呈海融 が出面して、 の方を例一般呈海融 の方を例一般呈海融

あり

東京市神田島花房町山崎市岡堂 代三十爻五十爻一円 工円

有自集台者及原傳百 會注戶最似解气 配會式牒藥與堂養那 先進知 由七〇九一城京都城 自丁三路歸城京

瀕死の恩師夫人を

**慶直長州都東地面北続里金春宝** 

犯人を捕る

京城天然町八〇一村嶋福の安春徳一して、後度打香館に凡返して窓に 男が出來たか、捜査願

人感・血質・陰宇省の製剤に して迅速しかも保大な効果を 診査トニク・ 診る実味の製査トニク・ お名観報側 表も個色なし、これこを理想の資 発起機制

野見物士 十度様威資盛報告書及賦供品筆量が走が一世所引擎に轄効ありなどが一世所引擎に轄効あり、前端線、「四八十銭」の議場、「新名後、「新名後、「新名後」、「新名後、「新名後」、「新名後、「新名後」、

庭球試合日程變る

大發明遂二完成二類無キ專賣特許,

■ 人 造 大 理 石 以に優美な製品銀膚、製設、應用科學作用に依 工業界の革命見現る

三具階用 公**店**のは

Į, į

C

" 形

品想理る補を點練

の ルイタ石理大)の來從

今回が初めてすあるが、澎淵、上軍人が設助行貨の窓に浴したのほ

新例を聞いた課である(関係の分)認めたもので、陸軍として空間のして管理として空間のして関係の連行に苦臭した功能を

追ふ不貞の妻

陸軍省—第二十六回發表—

水害御下賜金

再度の出奔に捜査願ひ

今度の朝鮮水

国家に何候せしめ、恐能理受を御月香にあらせられる智閣

けふの天氣

※ 京日案内

本原列来追溯 三金人用部合により部の市人へ活動 一個の場合側型 一個の場合側型 一個の場合側型 一個の場合側型 一個の場合人工等 明月常来所 一個の場合という 一個の場合という。

宝字 大 シニップ 1 ド北灰山 本町 一丁目的近にて発定す 訓報切の方に構納を呈す 加木扇四八二八 井 ロ

製紙化學工業株式會社

大川半さ大の大川・北川の高島は二日の選手神会(常光北三川)大島

營回安時 株主 慶寶 公子 / 日迄 株式 名義 7 治 (平) · (平) ·

金世長の新疆

二中 井 教人がは君生十名正気無器無用 森 瓜 み あ

家 具 耶爾斯斯子與中國 遊蘭有特女價度與交通或與列戶與數之 遊蘭有特女價度與交通或與列戶與數之 可可三丁目亦本(2)五〇九一

の根拠の未が埋収にあた時分に平

設着にしてのた疑慮だつた。

て、既はず後返りした。

まひ子の トンボ

井

廣 史

處意想外に多數

の應募作品

12

接

し全國の

1:

12 1:

**b**/) 永

になる昆蟲漫畫に

かわる記

念に

ヤラメル

0)

內噸

畵

から

L

<

1 秋

選

發

魁けて『昆蟲の童謠と話』を募りまし

人選

きらり すいすい赤こんほ

る程度の、地脈な格子総の背壁装(ると、魅子は、何といふことなく)た。さら思ひ作ら不圖、目を移し付いてやつよぞれだつたのかと解(惟子を指述つた。兄の脱穀を黙じ)を縦めてゐるのではないかと思つ | てらた。 横手の着てるる着勁に間 | 東庭にあらのが質じられない程の| 却つて、着勁の衝形なのが目立つ | んだ。 据念が出念だけに、造飛が 海い肉色の半点が、頭みを帶び一切にびつたり値を寄せて此方を見 映った。脚一郎は、 既はず野を吞 になる。 になる。 でってある。 での変が射るやうに も、自分達が思つてゐる以上に心 **蒸盤斯上演映器** た彼の瞳に、守宮のやらに瞬の建 ずから聞いた活介との問題に就て もその後ろに立つてある羅子と職な 反射低に脳を上げた浩介は、嬢で 周一郎はギクリとした。水を浴び した時、浩介の耳の後ろで、毎期 伏あー に 飲けて何かいはうと たやうな心悸だった。 |待つてゐる心算だつたのだ!.] 低観達の方を見た。 も知らせようと思ったのだけれど 疑びを受けてあるんだ、言うして 「よく時間が解ったね!」 屋分類く振りだったねる。 君に 『愛子が、愛子は……、今、咳る ら云つて、自分の情。を表はした 一個と例まなかった!」間一郎は一つた。沿介は默つてるた。 いくものか、只、夢中で浩介は 使あ、岩を毎日でも比處で 速ひたかつた!』その後を 開一郎は肚の底

一就くなつて下を向いてしまつた。

調和を見せてみたが、そのためか

えんら

職職に答べて

廿五日番組 金曜日)

後は、努めて獅子の裾縦を避ける | 同七時 | 今日の天景見込 同式牌IIO分(東) 近 選 の 一 放 送 第 一 放 送

| 祖夢だったのだ! |近付き難い険源なものがあさらか||「お削……何迄へ?」 置くたつて間一郎は呻くでうにい られた人間のやうに何もいふこと 離子と一緒に、先へ歸つ て下 さ ていやし独の故じやない。 受子が | 受け取つて 蹴へろ 自信はなかつた 「悪かつた、故して臭れ!炭が不 こさうだつたのか!失襲り 『兎に角、僕あ直ぐ行から!一周一場を電地通りの方に向つて、すん に譲取られた。彼は、耳顔を嵌め一二一寸急ぎの用が出来たのです。 一郎は、キッパリいつた。母魁は、一人、歩いて行く。 ラテタスの虚性訓(II) 同七時一分(東)朝の修葺 エビ 部份

湖山村 · 路面街道 (里里) 华丽岩河

第二課章 アン第二課章 アン

げはしたが、その表情の中には、 母親は、冷たい目をして浩介を

が出来なかつた

間一郎の母群も同じやうに頭を下 何を考へてゐるのか、好し不安にやうにしたがら母説に一種した。 たつた今顔を見たばかりの息子が □零時三〇分(大)國民総 ・統谷領護所より中継 ・統谷領護所より中継 ・統谷領護所より中継

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

ij

しとわに(フラスキクス)記述により中産

同八時四〇分 楚漢歌(外) 學 關 玉

| 師願長宮典レース)第二放送、| 京城) うたのおけいこ | 平井美奈子

(イ) 類しいとでも嬉しい(イ) 新らしい酒の歌(合唱)(イ) 新らしい酒の歌(合唱)

・ボールマン彌唱)

- 丸竈川記念館より中郷一大。 浪花節 | 櫻川山郎巌

同三時四〇分(東)三塚通常・笠 同四時 ニュース(派家通報・笠 同四時 ニュース(派家通報・笠 ス・演集通報・翌日の番組(他 方へのニュース・京城) 前一〇時 ニュース・京城) 同九時三〇分(東)時報 東部 東京

同六時10分一単 コドモの新聞

ニュース、天氣原大了職 同六時 歌のけいこ 同一時一五分二編人の時間金・映山紅 午後雲時五分

同八時二〇分(平)トーキー 首楽 言士校位度尾 同八時二〇分(東).

新國語語本卷八取扱上の考察 廾六日き◆物 同八時一〇分(東)郷曲 **長四學 海山道兵中将** 東田学 東田 神瀬 関防と 同七時三〇分(東) 議曲松蟲

新讀本卷八。取扱品教師の時間 午後三時十分

1.0日 鎮東通 1日 / 北朝圣日唐行 盛山上湖門 1日 / 北朝圣日唐行 盛山上湖門 1 / 江山 1 / 江

○北鮮新潟但直航
○北鮮新潟但直航
○北鮮新潟但直航
○江鮮紫田名源等二人名)
「定鼠紫田名源等二人名)
東南八日 羅北八日 清里八日 河山之日 新聞三日 元山七日
東南八日 羅北八日 河東一日 田東田 東京―阪神―劇門 

明鲜的那从株式食时 《我是描本局(2)四一五金 0架 多 行 從表性描本局(2)四一五金 0架 多 行 從 山 支 店 大 縣 通 伊里 中一時 代表に描述 日 河 (代表に描述 日 河 (市田 平 ) (市田 ) (市田 ) ) ( \*

どこの野店にもあり が低快に辿みます◆ れツキリとして時間 をのんで下さ、頭は

學校の成績職職の





课 二十名(金山面及コムビアレコード 一枚短) 建 四 郷(東 宮)河野 東台(大阪)田上 泰浩 岩村 和満東東 宮)鈴木 東湾(高超)野村 花世 山口 晋候(紙 子)久保 博文(高超)野村 花世 山口 晋候(紙 子)久保 博文(高超)野村 花世 山口 晋(紙 子)久保 博文(高超)新村 花世 高山 葉(帳 阜)山 形 弘(山口)山 下 豐 佐々太宮。(新位野・)融(五)東洋子(岐阜) 新北宗 豐(吳 順)宮田 耕御(奈良) 石川 「地(曇 河)紅十九名 高品聚絵を到(て氏名級表に代へます 高品聚絵を到(て氏名級表に代へます 电电镀色电电

名 (三丁郷及コロムビア

今

廣

史

四十二年 四十二年 四十二年 四十二年 四十二年 四十二年 四十二年 日曜子(国



會式你

菓 製 水

Œ.

すいすい赤とんほ



五五円 (の時面)

华科

来にいのである 来にいのである

※室のものだらうと打たれ香を取られることは、とっていれるを取られることは、

元こで例に、歩と打ち選てたもの

い一歩だが敵の防備を削ぐ 坂口君さらはさせじと無

△六改 ▲山段

尤

(18)

ぎこへ歸つて行くのやら 風に流れて、ただひごつ

> 位. 7 皆

厚

く御禮申上げると共に

仐 御 0)

愛

用

杢

併

せて

御

願

申

Ŀ

げ

3,5

深く 様の

感謝致して居

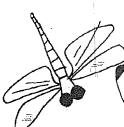
ります

應募の あたり見

各

相變らざる御愛顧を目

人陽に光る 薄い宛



共和票律名期補村上近 五 名 (十個及コロムビアレコード 五枚宛)

**抄**屬京京师

作 支 作 漫 游 家 家 家 家 家 家 家 家

質品酸逆を見て氏色酸聚に代(ま選外律作 百一名(森永の菓子語合む)

『豊康領条』、マニ時間四十九分

而自い、以て飛車の交換は

自由を制勢する疑念があるので四月出を制勢する疑察は以下四二歩打ちに五十分近くのの形では弦の姿が想い縁め、角の以下四二歩打ちに五十分近くの以下四二歩打ちに五十分近くの以下四二歩打ちに五十分近くの

急げ迷び子の赤さんほ

日暮は寒い すすき原

どほい人陽が眼に みる

きらり

すいすい赤ごんほ

高は遠い西の空

ついぎ止つてまた急ぐ

此處は野の路

風の路

たと語ざなければならぬ局面でしてたが、歩切れを補属するため関したが、歩切れを補属するため関したが入場と思い込み客つてみましたが、歩切れた補属するため関

一とは以下政めを総約 一とは以下政めを総約 一とは以下政めを総約





11L

後一層

朝鮮汽船出帆廣告

海路港 日元山 日

沿进一日 元山四日 2年1日 元山四日 3年

一个川大日 國南湖七日 签山十日 工程工程。将24月 第一本 安 九 海滩土日 签山大日 上海行 网络亚祖 带山一木浦一年 安 九

本流代型店 朝籍亚多支店 参山代理店 大油 山 灣 店 元山代理店 图 範距 多安店 元山村代理店 图 範距 多支店 加州代理店 图 鲍班 多支店 流址代理店 图 鲍班 多支店 流址代理店 图 鲍班 多支店